

〈テーマ〉

脂肪性肝疾患の基礎知識



三重大学医学部附属病院 検査部教授
杉本 和史 先生

脂肪肝は大きく非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) とアルコール性脂肪肝に分類される。近年 NAFLD の名称は “代謝機能障害関連脂肪性肝疾患 (MASLD)” に変更され、従来の非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH) も “代謝機能障害関連脂肪性肝炎 (MASH)” に変更された。MASLD の成因には内臓脂肪、インスリン抵抗性などがあり、そこに酸化ストレス、炎症性サイトカイン、腸内細菌由来のエンドトキシン、遺伝性素因などが複雑に絡み、MASH の病態が形成されていく。本邦でウイルス性肝疾患が減少していく一方で MASLD、アルコール関連肝疾患は増加しており、これに伴う肝不全、肝細胞癌も増加している。また、MASLD では心血管イベントも増加し、主たる死因となっている。

本講演では、MASLD およびアルコール性肝疾患の理解において、臨床検査技師に求められる基本的な知識や視点について、簡潔に解説する。

【略歴】	1992 年 6 月	三重大学医学部附属病院 第一内科 医員 (研修医)
	1993 年 1 月	三重県立総合塩浜病院 内科 医員 (臨床研修医)
	1994 年 10 月	三重県立総合医療センター 内科 専門診療医
	1995 年 4 月	三重大学大学院医学系研究科 博士課程
	2000 年 4 月	三重大学医学部附属病院 第一内科 医員
	2000 年 6 月	米国 ペンシルバニア大学医学部消化器科 Postdoctoral Researcher
	2002 年 12 月	三重大学医学部附属病院 第一内科 医員
	2005 年 2 月	三重県立総合医療センター 消化器科 医長
	2008 年 7 月	三重大学医学部附属病院 中央検査部 (現検査部) 助教
	2011 年 10 月	同 中央検査部 (現検査部) 講師
	2019 年 6 月	同 中央検査部 (現検査部) 准教授
	2024 年 8 月	同 検査部教授